

# 令和4年(2022年) 松本地域 県政おもなできごと

《松本地域振興局・松本保健福祉事務所・松本建設事務所・安曇野建設事務所》

## 通 年

### 新型コロナウイルス感染拡大防止の取組とワクチン接種を促進しています 《松本地域振興局》



【県の接種会場となった  
松本合同庁舎講堂】



【 ワクチンバスによる接種 】

1月には第6波の影響により、全県に「まん延防止等重点措置」が発令され、松本圏域でも飲食店等に時短営業等の要請を行いました。ワクチン接種は一年を通して推進し、松本合同庁舎会場に加え、安曇野庁舎、イオンモール松本での接種やワクチンバスの運行、また10月以降はオミクロン株対応ワクチン接種を市村とともに推進しています。

《総務管理課》

### 次期総合5か年計画「松本地域計画」(案)を作成しました

《松本地域振興局》



【地域懇談会の様子】



【【拡大版】地域戦略会議  
の様子】

次期総合5か年計画「松本地域計画」の策定にあたり、「めざす姿」や「取り組む政策」について、地域の皆様から幅広いご意見やご提言をいただくため、3月3日・10日に松本地域で活躍する各種団体等の皆様と松本地域懇談会を開催、5月16日には県及び市村長と【拡大版】地域戦略会議を開催しました。

また、信州大学の学生からも幅広く意見を伺い、地域計画(案)を作成しました。

《企画振興課》

## 1月

### 県営かんがい排水事業梓川右岸地区排水トンネル工事に本格着手しました 《松本地域振興局》



【シールドマシンによる排水  
トンネル施工】

松本市波田地域の水稻やスイカを栽培する約320haの農地では、作付け作物の転換によるマルチ化等に伴い降雨時には短時間で排水が流出するようになったため、排水対策としてミニシールド工法によるバイパス水路を地下に新設しています。

令和2年12月に契約し延長848mの水路を4年間で新設する工事が本格的に始まりました。これにより農地からの排水不良を解消し、農業生産の向上と住民生活の安全を図ります。

《農地整備課》

3月

主要地方道松本環状高家線 梓橋の拡幅工事が完成しました  
《松本建設事務所》



【梓橋完成写真】

梓橋は一級河川梓川を横架し、松本市と安曇野市を結ぶ重要な結節点です。

令和元年から実施してきた梓橋の全線3車線化工事が完成し、3月18日に供用が開始されました。スムーズな交通確保とともに朝夕の渋滞緩和につながりました。

《整備課》

4月

信州スカイパーク「ランニングステーション」の利用を開始しました  
《松本建設事務所》



【ランニングステーション全景】

信州スカイパーク ファミリースポーツゾーンに新たに「ランニングステーション」が誕生！

3月24日にオープニングイベントを開催し、4月1日から利用を開始しています。園内のランニングに便利な更衣室・シャワー室が整備され、2階は展望台になっています。

《維持管理課》

4月

県道上高地公園線 のり面崩落の復旧に、地域の建設会社と力を合わせて取り組みました  
《松本建設事務所》



【崩落状況】



【応急工事完了状況】

4月27日、上高地の開山祭当日に県道のり面が崩落し、上高地の宿泊客等約750人が一時孤立状態となりました。

地域の建設会社の協力により、当日中に崩落土砂を撤去し、同日夕方に臨時バスにより希望者を下山させることができました。また、昼夜通しの作業により仮設防護柵を設置し、大型連休初日の朝に通行止めを解除することができました。

《維持管理課》

4月

松本系魚川連絡道路「安曇野道路」が、令和4年度から事業化されました  
《安曇野建設事務所》



【「安曇野道路」完成イメージ】

地域高規格道路「松本系魚川連絡道路」の計画のうち安曇野市新設区間約4kmが「安曇野道路」として国の補助事業に採択され、今年度から事業化されました。

構想段階からルート決定、事業化に至るまでに30年以上の年月を経て、ようやく建設に向けた調査設計に着手することができました。

この道路整備は、地域の産業や観光の発展に寄与するものと考えており、一日も早い整備に向け推進していきます。

《整備課》

4月・7月

森林(もり)の里親契約が2件締結されました(4月:安曇野市・7月:塩尻市)  
《松本地域振興局》



(安曇野市)【協定締結式と活動状況】(塩尻市)



4月1日に安曇野市とゴールドパック(株)、7月7日に(株)チンタイバンクと塩尻市の森林ボランティア団体一期会が森林(もり)の里親契約を締結しました。今後、地域間の交流を含め協働して森林整備活動が行われます。  
《林務課》

5月

焼岳の噴火警戒レベルが引き上げられました 《松本地域振興局》



【焼岳登山道の閉鎖】

焼岳の火山性地震が増加したことにより、5月24日、平成23年の警戒レベル設定以降初めて、気象庁により噴火警戒レベルが2に引き上げられました。  
引き上げを受け、松本市、岐阜県など関係機関とともに、登山者の下山周知や登山道の閉鎖、警戒レベルに係る周知活動を行うなど警戒体制を敷きました。(7月12日レベル1に引き下げ)

《総務管理課》

6月

アルピコ交通上高地線松本～渚間の運行が再開しました  
《松本地域振興局》



【上高地線開通式】

R3年8月14日の豪雨に伴う河川増水により、上高地線の田川の2つの橋脚が洗掘被害を受け、バスによる代替輸送を行っていましたが、約10か月に及ぶ復旧工事が終わり、6月10日の始発から、全線で運行を再開しました。

《企画振興課》

6月

スマート農業を推進するため、農業用ドローンの実演会を実施しました  
《松本地域振興局》



【農業用ドローンの実演会の様子】

農業用ドローンは、水稻・麦・大豆などの防除作業に用いられており、松本地域でも導入が進んでいます。  
これまでの実験の結果、農業用ドローンを使用すると、通常の薬剤散布の方法と比べ、約30～40%の作業時間の短縮が可能となることが実証されています。  
一方で、作業前に法令に基づいた各種届出が必要なことを農業者に知ってもらう必要があります。  
そこで、6月16日に市村・JA等を対象に、法令上の留意点の啓発を兼ねた実演会を実施し、スマート農業のより一層の推進を図りました。

《農業農村支援センター》

6月

黒沢川調節池の工事を本格的に開始しました 《安曇野建設事務所》



【着々と進む調節池工事(R4.11)】

安曇野市黒沢川の下流域では、過去から氾濫による浸水被害が繰り返し発生しています。

調節池は、下流の人家を浸水被害から守るため、大雨時に川の水を引き込んで貯めるものです。

この調節池は、信濃川水系緊急治水対策プロジェクトにも位置付けられており、令和6年度には治水効果が発現できるよう進めます。

《整備課》

7月

「信州まつもと空港発「レンタカーDeぐるっ得パス」レシートキャンペーンを実施しました 《松本地域振興局》



【レシートキャンペーンのチラシ】

7月16日から、信州まつもと空港からレンタカーを利用された方へお配りする「レンタカーDeぐるっ得パス」を利用し、買い物等された方を対象に、抽選で宿泊券等が当たるキャンペーンを実施しました。

《企画振興課》

7月

県消防ポンプ操法大会・消防ラッパ吹奏大会が松本市で開催されました 《松本地域振興局》



【競技の様子(安曇野市消防団)】

7月10日に、3年ぶりの開催となる「県消防ポンプ操法大会・消防ラッパ吹奏大会」が松本市の消防団トレーニングセンターで実施されました。

新型コロナウイルス対策を施した上で、当日は県内の6つの地区協会から代表チームが参加し、日頃の鍛錬の成果を披露しました。

《総務管理課》

7月・8月

参議院議員通常選挙(7月)・長野県知事選挙(8月)に係る投票の呼びかけを実施しました 《松本地域振興局》



【参議院選:松本駅前での啓発活動】



【知事選:サンプロアルウィンでの啓発活動】

7月の参議院通常選挙、8月の長野県知事選挙の投票率の向上を図るため、松本市選挙管理委員会、大学生ボランティア等と連携し、啓発物品の配布と投票の呼びかけを行いました。

《企画振興課》

8月

安全登山・山岳遭難防止の啓発運動を実施しました 《松本地域振興局》



【啓発活動実施状況】

8月11日の山の日に、上高地インフォメーションセンター前で安全登山・山岳遭難防止の啓発活動や登山計画書の提出に関するアンケート調査を実施しました。(松本地域振興局、北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会、松本警察署が合同で実施)

《商工観光課》

9月

松本市沢渡地区において、住民の皆さんの意見を反映した防災マップに基づいた避難訓練が実施されました 《松本建設事務所》



【松本市沢渡地区懇談会の様子】



【地域防災マップの事例】

土砂災害による犠牲者を出さないためには、安全な場所へ速く避難することが重要であることから、県では住民自らが主体的に判断し避難する「地域独自の警戒避難体制づくり」に取り組んでいます。松本市沢渡地区では、地区住民による3回の懇談会を経て、9月に地区防災マップが完成し、避難訓練を実施しました。

今年度は、塩尻市片丘南内田地区、朝日村小野沢地区などでも地区防災マップの作製が進められています。

《計画調査課》

10月

県総合防災訓練が松本市で開催されました 《松本地域振興局》



【ヘリによる消火訓練、段ボールベッド組み立て訓練】



大規模な訓練としては3年ぶりとなる県総合防災訓練が10月23日に松本市で開催され、78団体、約1,500人が訓練に参加しました。

また、11月にはテロ事案を想定した国民保護共同図上訓練が塩尻市で開催され、大規模な訓練が松本地域で開催された一年となりました。

《総務管理課》

10月

信州まつもと空港と管内ワインバレーの魅力を福岡市で発信しました 《松本地域振興局》



【ワインバレー魅力発信ブース】



信州まつもと空港の定期便就航地である福岡市で10月15日、16日に開催された「2022RKBカラフルフェス」に出展し、桔梗ヶ原ワインバレー及び日本アルプスワインバレーの情報発信と信州まつもと空港のPRを行いました。

《商工観光課》

10月

旅館組合・果樹産地と連携し「信州フルーツおもてなし事業」を実施しました  
《松本地域振興局》



【宿泊客に用意したシナノゴールド】  
(市民タイムス提供)

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた松本地域の旅館組合(28宿泊施設)や果樹産地(2JA)と連携して、旅館やホテルに宿泊されたお客様を地元のリンゴ(シナノスイート、シナノゴールド)でおもてなしをする事業を実施しました。  
《農業農村支援センター・商工観光課》

10月

令和最初の第34回松本地区育樹祭を開催しました 《松本地域振興局》



【記念標柱に集まって】

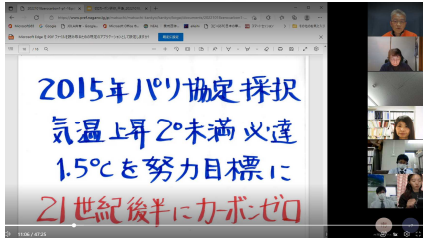


【育樹作業の様子】

4年ぶりとなる松本地区の育樹祭を10月4日に朝日村のあさひプライムスキー場で開催しました。  
緑の少年団など約100名が参加者し、育樹作業など「未来につながる森林づくり」を楽しく実施しました。  
《林務課》

10~12月

教員を対象としたゼロカーボンに係る指導者養成研修会を実施しました  
《松本地域振興局》



【オンラインでの研修風景】

学校の先生方にゼロカーボンの基礎知識を学習してもらい、また、授業の教材として活用できる話題や事例を紹介するための研修会を、10月から12月まで月1回開催しました。  
受講した先生からは、「web上や文献等では知ることができない内容があり参考になった」などの感想をいただきました。  
《環境・廃棄物対策課》

10月・11月

「暮らす・働く信州まつもと広域圏まるごと移住相談会」(10月)  
「信州まつもと広域圏まるごと移住体験ツアー」(11月)を開催しました  
《松本地域振興局》



【移住相談会の様子】



【移住体験オンラインツアー】

10月15日東京交通会館にて、3市5村による移住相談会を開催し、先輩移住者が体験を語るセミナーや各市村等のブースによる個別相談会に74名が訪れました。  
11月23日には、スタジオと各市村をオンラインで繋ぎ、「住まい」「仕事」などをテーマに移住希望者22名へ各市村のPRを行いました。  
《企画振興課》

11月

近代化遺産モニターツアーを開催しました

《松本地域振興局》



【ワイナリーの見学】

近代化遺産カードの4つのテーマのうち、豊島理喜治の石碑やワイナリーなどの「ワイン醸造遺産」を巡る近代化遺産モニターツアーを11月17日に開催しました。18名の方に参加いただき、同ツアーのアンケート調査にご協力いただきました。

《企画振興課》

11月

出産・子育て公開講座を開催しました

《松本保健福祉事務所》



【高野優さんの講演】

地域住民の理解と協力を深め、松本・大北地域の産科医療提供体制を維持していくため、公開講座を開催しました。

育児漫画家の高野優さんによる「新米ママ・パパ応援講座 楽しまなくっちゃもったいない ～子は育ち、親も育つ～」と題した講演、出産・子育て何でも相談会などに、約140人(会場約80人、Web視聴約60人)の参加をいただきました。

《総務課》

11月

松本市立鎌田中学校が河川について学び、その成果を発表しました

《松本建設事務所》



【出前講座】

松本市立鎌田中学校1年2組では、生徒が自発的に河川について学習し、「流域治水」の取組や、河川清掃、微生物、水深調査、貯留した雨水の有効活用など、班ごとに研究し、その成果を発表しました。

奈良井川改良事務所では、身近な河川について学んでもらおうと、小中学校の「総合的な学習の時間」等を活用した出前講座を開催しました。

《奈良井川改良事務所》

11月

県道白骨温泉線の異常気象時の道路通行規制基準を緩和しました

《松本建設事務所》



【岩体除去工実施状況】

落石危険個所の対策工事が完了し、一定の安全が確保されたため、11月15日から県道白骨温泉線の雨量規制を60mmから80mmに緩和しました。

《維持管理課》

12月

信州まつもと空港ジェット化開港利用者400万人を達成しました  
《松本地域振興局》



【空港ジェット化利用者400万人  
達成セレモニー】

昭和40年7月の開港から、全国の皆様にご利用いただいている信州まつもと空港は、令和4年12月2日の福岡便のお客様をもって、空港ジェット化利用者が400万人を達成しました。

《企画振興課》

12月

知事と県民との対話集会を開催しました  
《松本地域振興局》



【生坂村】



【麻績村】

12月15日に、生坂村と麻績村で知事と県民の皆様との対話集会を開催しました。農業振興や子育て支援など地域が抱える課題をテーマに、知事と地域の皆様の意見交換が行われました。

《企画振興課》

12月

松本地域「地域発 元気づくり支援金」優良事表彰式・事例発表会を開催しました  
《松本地域振興局》



【受賞者の皆さん】

12月23日に松本地域「地域発 元気づくり支援金」優良事表彰式・事例発表会を開催しました。

令和3年度に実施した51事業の中から、地域の元気を生み出す優良事例として、知事表彰1団体、松本地域振興局長表彰3団体を表彰するとともに、各団体が事業内容の発表を行いました。

《企画振興課》

12月

国道147号アルプス大橋東から平瀬口間の全線4車線化工事が完成しました  
《松本建設事務所》



【アルプス大橋方面を望む】  
(R4. 12. 2時点)

松本トンネルの無料化や梓川スマートICの利用の増加等により、安曇野市と松本市を結ぶ国道147号の交通量が増加しています。

交通渋滞対策の一環として、アルプス大橋東から平瀬口間約500mの全線4車線化が完成し、12月26日の供用開始を予定しています。

《整備課》